

これまでの都計審や地域別構想の検討を踏まえた全体構想の修正方針

	都計審での意見を踏まえた修正方針	地域別構想の検討を踏まえた修正方針		これまでの検討から総合的に判断した修正方針
共通	<div>■【例】で示す具体的な取組及び方針図</div> <div>・方針の実現に向けた取組に示す例示の具体性にバラツキがあるため、市民がイメージしやすい具体的かつ具体性が揃った表現に努める。</div> <div>・方針の実現に向けた取組と、方針図に示されている取組の表現が統一されていなかったため、取組の表現を統一するとともに、取組の文言の後に方針の実現に向けた取組の番号を記載し、つながりをより分かりやすく表現する。</div> <div>・方針図をみて各テーマで取り組む内容がわかるようにとの意見を踏まえ、場所だけでなく具体的な取り組み内容が読み取れる表現に努める。</div> <div>・取組の内容が都市マスの範囲を逸脱していないかとのご意見を踏まえ、庁内調整を行い取組の精査を行う。</div>			
安全・安心	<div>■取組の柱</div> <div>・交通安全に関する取組は本テーマで取り扱うことが適切との意見を踏まえ、テーマ「快適な移動」と連携して取り組むこととして再掲する。</div> <div>■【例】で示す具体的な取組</div> <div>以下の意見を踏まえ、取組の追加や文言の修正を行う。</div> <div>・「防犯」に関する取組の落とし込み</div> <div>・危ないエリアへの福祉施設の立地</div> <div>・水害対策に対する具体的な記載</div> <div>・無電柱化の推進の必要性</div> <div>・建物の更新への対応</div> <div>・密集市街地への対応</div>	共通	・「鉄道を横断するアンダーパス部等の浸水対策の検討」、「老朽マンションの管理」、「建物の更新」、「密集市街地の防災機能強化や狭あい道路の交通環境の整備、防火対策の推進」等に関する取組を追加する。	・方針の実現に向けた取組として「①災害のおそれのある地区からの脱却」と提示していたが、取組内容と乖離があることからタイトルを「①災害リスクの低減・回避」に変更する。
		内間木	・「内間木公園の防災拠点化の検討」等の取組を追加する。	
		北部	・「朝霞浄水場との連携による災害時の連絡体制強化」等の取組を追加する。	
		南部	・「基地跡地の防災拠点化の検討」等の取組を追加する。	
自然・環境	<div>■テーマ</div> <div>・テーマの名称が「持続可能」ではテーマに対する取組イメージが付かないとの意見を踏まえ、「自然・環境」に変更する。</div>	共通	・旧川越街道や旧高橋家住宅などの歴史的文化資源の保全と活用に関する取組を追加する。	・緑の基本計画の改定に向けた取組状況を反映し、方針の実現に向けた取組「豊かな自然を育みつなぐ」の取組の柱のタイトルを変更する。
		内間木	・「内間木公園の拡張整備」等の取組を追加する。	
快適な移動	<div>■テーマの方針</div> <div>・「ウォーカブル」の捉え方は人によって捉え方が異なることから、もう少しわかりやすい言葉に変えてはどうかとの意見を踏まえ、方針を「多様な移動手段でつながる、安全で快適な移動環境のある、人にやさしいまちを目指します。」に変更する。</div> <div>■【例】で示す具体的な取組</div> <div>以下の意見を踏まえ、取組の追加や文言の修正を行う。</div> <div>・黒目川を歩く視点も必要ではないか</div> <div>・安全な道づくりを位置付けるとともに、整備の優先順位を表現できないか（⇒道路基本計画で対応する）</div> <div>■方針図</div> <div>・方針図に市管理の橋梁を示しているが、市民にとって管理者は関係のないところで</div>	共通	・連続した歩行空間及び自転車走行空間の確保に関する取組を追加する。	・方針の実現に向けた取組「⑧誰もがつかないで通れる道づくり」と「⑨人中心の歩きたくなる道づくり」の取組内容が重複することから、2つの取組の柱を統合する。
		内間木	・「持続的な公共交通の運行に向けた道路拡幅整備等の取組推進」、「幹線道路の整備に伴う周辺道路を含めた交通安全対策の推進」等の取組を追加する。	
				・市民要望として出されている「老朽化した側溝の改修」を取組の柱「既存道路の改良」の取組の1つとして例示する。

	あることから全て表現すべきではとの意見を踏まえ、全ての橋梁を方針図に表現する。			
にぎわい ・活力	■【例】で示す具体的な取組 ・浄水場や川越街道等の地域資源を生かしたにぎわいづくりが位置付けられているが具体的な取り組みが想定されているのかとの指摘を踏まえ、庁内調整を行ったうえで取組を精査する。	共 通	・黒目川や街道筋等の自然環境や歴史・文化資源を生かしたにぎわいづくりに関する取組を追加する。	・地域ごとの資源やストックを活用したにぎわいの創出の視点が弱かったため、新たに取組の柱に「地域資源を生かして活力を創出する」を追加し、取組の柱「立地特性を活かして戦略的に産業を誘致・育成を図る」の取り組みを取組の柱「安心して産業活動ができる環境を整える」に統合する。 ・朝霞台駅で進められている駅舎の建て替えに合わせた賑わい空間の創出の取組を追加する。
		内間木	・「利活用の核となるエリアの形成（内間木公園周辺）」等の取組を追加する。	
		北 部	・公園や浄水場等の立地等の地域資源を活用したにぎわいづくりの取組を追加する。	
		東 部	・「利活用の核となるエリアの形成（あずま地区）」、「建物1階部分のオープン化による歩いて楽しい空間の形成」等の取組を追加する。	
		西 部	・市内に立地する企業等との連携・協働による地域経済の活性化に関する取組を追加する。	
		南 部	・主要な公共施設の立地を活かし、朝霞駅前伊の活性化と連動した回遊性の高い歩道・広場の設置・充実に関する取組を追加する。	
私らしい暮らし	■取組の柱 ・方針の実現に向けた取組として「①歩いて暮らせる駅近な地域づくり」とあるが、既にそのような状態が形成されていること、他のエリアでもそうあるべきであることからタイトルとして適切でないとの意見を踏まえ、「①歩きたくなる駅近な地域づくり」に変更する。 ■【例】で示す具体的な取組 以下の意見を踏まえ、取組の追加や文言の修正を行う。 ・公共施設のあり方の記載 ・無秩序な開発抑制 ・高齢者支援施設のまちなかへの誘導 ・大学との連携	共 通	・交通に係る取組はテーマ「快適な移動」で対応するため、本テーマの取組から削除する。 ・オープンスペース等の確保だけでなく「利活用」の視点も加える。	・取組の柱「市街地と自然をつなぐ、選択肢のある住環境を整える」では、4つの性格の異なる住環境の選択肢を提示し、その実現に向けた取組を示していたが、「駅とみどりをつなぐ、公共交通で移動しやすい地域」と「利便性と自然が調和したゆとりある地域」における地域特性が似ていること、2つの地域の違いとなる公共交通の利便性については、将来的に担保できるものでないこと等を考慮し、2つの地域を「利便性と自然が調和したゆとりのある地域」として統合する。
		内間木	・「教育や文化・福祉などの機能充実の検討」、「排水処理機能の向上の促進」等の取組を追加する。	
		北 部	・「鉄道高架下空間の利活用」、「地域に開かれた浄水場に向けた検討」等の取組を追加する。	
将来都市構造図	・ゾーンの名称から、具体的にどのようなゾーンを目指すのかがイメージしにくいとの意見を踏まえ、ゾーンの名称及び説明の表現を以下の視点等を踏まえ見直しする。 ※見直しの視点（これまで頂いた意見） ・国道254号バイパス沿道においては、「産業の活性化」と「自然との共生」の相反する方針が示されている ・あずま北地区は「産業の活性化」と「自然環境の保全」のどちらを目指していくのか			・全体構想及び地域別構想での検討を踏まえ、将来都市構造を構成する要素の方針を更新する。
各テーマの目標に対するストーリー	・交通安全に関する取組はテーマ「安全・安心」で取り扱うことが適切との意見を踏まえ、テーマ「安全・安心」に関するストーリーにテーマ「快適な移動」と連携して取り組むことを追記する。			